

## 国際宇宙教育会議設立に係わる

カナダ宇宙庁、

欧州宇宙機関、

日本宇宙航空研究開発機構、

米国航空宇宙局

による取り決め

(仮訳)

カナダ宇宙庁（以下「CSA」）  
欧州宇宙機関（以下「ESA」）  
日本宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）  
米国航空宇宙局（以下「NASA」）は、

（以下、合同で「設立メンバー」もしくは「メンバー」）

社会の為の、教育の重要性を思い起こしつつ、

青少年に感動を与え、科学・技術・工学・数学に対する向学心を高めるうえで、宇宙活動が果たす貴重な役割を考慮し、

将来の人材のニーズに応えるため、メンバーそれぞれに教養と学識のある人材の育成に貢献する義務があることを鑑み、

既存の連携を基に、宇宙機関間の協力を強化・拡大し、共通利益が見出される分野に資金を投与することから得られる利益を鑑み、

以下のような共通理解に達した。

### 第1節：目的

この取り決めの目的は、国際宇宙教育会議（以下「ISEB」）を設立し、メンバー間の協力を強化する枠組みをつくり、以下の二重の目標を達成することにある。その目標とは、（1）宇宙に関連する科学・技術・工学・数学における知識・教養を高め、（2）宇宙活動にかかわる将来の労働力のニーズに応えること、である。

### 第2節：活動範囲

- 2.1 参加機関が実施する、青少年の為の教育・普及活動にとって、国際的に重要な課題を検討し、ISEBの目標や共同教育事業を定める。宇宙教育に関心のある他の機関との共同事業も、適宜、定める。
- 2.2 ISEBは、国際レベルで力をあわせることによって各メンバーの教育目標を達成すべく、共通の関心事項を審議する。各参加機関の実力・経験を持ち合わせることにより、それぞれの機関の教育活動を強化する機会を設ける。

### 第3節：活動

- 3.1 ISEBが認知した活動は、メンバーの任意により支援される。各メンバーは、ISEBのプログラム又は活動において、多国間協力または二国間協力を通じて協力してもよく、また参加しないこととしてもよい。

3.2 連携の対象となりうる分野は以下の通りであるが、これに限らない。

- 情報・教材交換
- 共同教育プログラム・プロジェクトの実施
- 学生・教員・研究者の人材交流。
- 宇宙教育に関心のある ISEB メンバー以外の機関との協力推進。
- 効果的な教育プログラムの最良の実例の普及

#### 第4節：メンバーシップ

- 4.1 宇宙活動を実施し、教育プログラムに従事している、いかなる公共機関も、メンバーとなりうる。新たにメンバーとして加わるには、以下の条件を満たしていなければならない。  
(i) 設立メンバーすべての総意を含む、現メンバーの過半数による承認；(ii) 加盟申請している機関が、ISEB 設立に係わる取り決め、及びその他 ISEB の活動実施に係わる文書に明記されている条件を受け入れる旨を、文書にて表明。
- 4.2 メンバーそれぞれが、ISEB に代表 1 名を選出・任命する。各機関の代表者は専門家を同伴してもよいが、その専門家の氏名を、他のすべてのメンバーに通知する。代表者はそれぞれ、代理を立てることが出来る。

#### 第5節：運営規則

- 5.1 ISEB の会議は、設立メンバーの代表者間から、持ち回りで選出される議長によって主宰される。いかなる議長も、任期を 2 回続けて務めることは出来ない。任期は、選出されてから 1 年とし、次の定例会議終了直後までとする。
- 5.2 議長の任務は、会議の通知を発行し、関連情報を配布し、会議終了後 30 日以内に、会議の非公式な議事録要約を作成して配布することである。
- 5.3 メンバーは、代表者分科会 (Representative Working Group) という、ISEB の執行機関を設置することに合意する。ISEB の業務を遂行するにあたり、代表者分科会が、審議課題にかかわる専門家と調整することを勧める。ISEB の議長と、代表者分科会の議長は、同一メンバー機関から任命される。
- 5.4 代表者分科会は、ISEB の年次会議開催の際に、開催される。また、代表者分科会は、必要に応じて、年間の他の時期に開催することもでき、年次会議で特定された教育連携プロジェクト/プログラムを促進し、ISEB の決定事項を実施することができる。
- 5.5 ISEB は、以下の事項を含む、ISEB 運営規則を制定することが出来る。
- (i) メンバーは、一年のうち少なくとも一度会合を持つ。議長は、年次会議およびその他の特別会議を主催する。
  - (ii) ISEB は、必要と見なされれば、分科会を設置することができる。
  - (iii) 他に特記事項がない限り、ISEB の決定は、設立メンバーすべての同意票を含む、出席メンバーによる単純多数決によるものとする。

